

令和8年度 第1回学校運営協議会 定時制部会 要旨

日時 令和8年6月11日（木）18時 於：大会議室

学校運営協議会委員（順不同・敬称略）

平田 眞二（大阪大谷大学 入試・広報課 参事）

味岡 知行（味岡刃物製作所 代表 伝統工芸士）

奥野 浩史（株式会社 奥野晴明堂 代表取締役社長 伝統工芸士）

岩本 真琴（堺市立旭中学校 校長）

山本 達也（浪速区民センター 副館長 人権擁護士）

押田 美保（保護者代表）

1 学校運営協議会について、委員委嘱

2 各委員の自己紹介

3 会長・副会長の選出

会長に平田眞二委員、副会長に味岡知行委員が選出された。

4 令和7年度学校評価および令和8年度学校経営計画について

本校は、めざす学校像として「人格の陶冶」を実現すべく、「自立した社会人」の育成をめざし、「ものづくり」を核に据えた教育活動を行っている。また、定時制の特色である「働きながら学ぶ」ことを大切に、生徒一人ひとりに応じた支援を行いながら、地域との連携も重視した教育活動を推進している。今後も資格取得支援や地域連携を含め、本校の特色ある教育活動の充実を図っていききたい。

○授業アンケートでは、「授業は分かりやすく楽しい」と回答した生徒の割合が引き続き 80%以上を維持している。

○資格取得については、令和7年度は取得者数が減少した。溶接関係資格の実施体制の変更等が要因であり、今後も資格取得に向けた支援の充実を図っていく。

○部活動加入率は50%を上回っているが、近年減少傾向にあるため、体験活動等を通じて加入促進に取り組む。

○ICT 活用や業務改善を進め、教職員の働き方改革及び健康管理の充実に取り組む。

5 本校の近況について（各分掌長より）

① 教務部

- 令和8年度新入生は32名（一般入試30名、追検査1名、二次入試1名の32名が入学）。
- 1年生への編転入生が1名、2年生への編転入生が6名、3年生への編転入生が3名で計10名。
- 生徒の在籍状況
 - 1年生35名（うち女子9名） 2年生27名（うち女子4名）
 - 3年生38名（うち女子3名） 4年生2名（うち女子0名） 計103名（うち女子16名）。
- 入学式後には対面式及び全校集会を実施し、生徒会役員の委嘱を行った。
- 今後の学校行事予定について説明を行った。

② 生活指導部

- 学校全体として落ち着いた状況で学校生活を送っている。
- 外国にルーツを持つ生徒が11名在籍しており、多言語サポーターや日本語指導等の支援を行っている。
- 給食については本年度も無償化が継続されており、約70名の生徒が利用している。
- 青切符制度に関する交通安全指導を実施し、7月には交通安全講習会を予定している。
- 自動二輪車通学については許可制としており、安全運転教育も合わせて行っている。

③ 進路指導部

- 3・4年生を対象に進路希望調査を実施した。
- 就職希望31名 進学希望6名 その他2名。
- 生徒向け進路説明会及び企業講師による進路講演会を実施した。
- 保護者向け進路説明会を開催予定である。
- 就職希望者の就職率100%をめざして支援を行っている。

④ 生徒会活動部

- スポーツ大会、府工祭、球技大会、生徒会役員選挙等の年間行事について説明を行った。
- 現在13クラブが活動している。
- クラブ体験会には75名の生徒が参加した。
- 生徒会役員生徒及び各クラス代表の紹介を行った。

⑤ 支援教育委員会

- SC、SSW、学習支援員、多言語サポーター等による支援体制について説明を行った。
- 外国にルーツを持つ生徒は11名在籍している。
- ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語による支援を行っている。
- 在留資格や就労に関する支援についても取り組んでいる。

6 委員の方からのご意見・ご要望・ご感想 等

○資格取得は生徒の将来の進路選択の幅を広げることにつながるため、生徒に資格取得の意義を伝えながら支援を継続していただきたい。

○AI 等の技術革新が進む中においても、技能や資格を持つ人材の価値は高く、ものづくり教育の重要性は今後も変わらないと考える。

○ものづくり教育を継続していただきたい。

○資格取得支援を継続していただきたい。

○給食指導を継続していただきたい。

○生徒一人ひとりに応じた丁寧な支援を継続していただきたい。

○地域と連携した特色ある学校づくりを今後も進めていただきたい。

以上